

龍谷大学グローバル教育推進センター研究年報

第 29 号

2020年3月

目 次

(論 文)

1. 信仰と芸能という側面から見た説教……………角 岡 賢 一…………… 1
2. 反転授業における効果的な教室活動
—日本語の文法授業を対象に—……………手 塚 まゆ子…………… 19

(資 料)

- グローバル教育推進センター活動記録・データ集…………… 31
- 編集後記……………畑 信 吾…………… 72

Ryukoku University Center for the Promotion of Global Education Research Bulletin

Vol. 29

March, 2020

Contents

(Articles)

1. A Study of the Shinshu Preaching from the Viewpoints of Faith
and Narrative Arts KADOOKA Ken-Ichi 1
2. Effective Classroom Activities in a Flipped Classroom:
Focusing on Grammar Lessons for Japanese language learners
..... TEZUKA Mayuko 19

(Material)

- Center for the Promotion of Global Education Activity Record & Data 31
- Postscript by the Editor HATA Shingo 72

<執筆者紹介>

- | | |
|------------|----------|
| 1) 角 岡 賢 一 | 本学経営学部教授 |
| 2) 手 塚 まゆ子 | 本学非常勤講師 |

<編集委員会>

- | | |
|------------|----------|
| 委員長 畑 信 吾 | 本学農学部教授 |
| 委員 村 田 和 代 | 本学政策学部教授 |
| 三 原 龍 志 | 本学文学部教授 |
| 稲 垣 宏 明 | 本学法学部准教授 |

「龍谷大学グローバル教育推進センター研究年報」編集委員会内規

(設 置)

1. グローバル教育推進センターに「年報編集委員会」を置く。

(目 的)

2. 外国語を母語とする学習者を対象とした日本語・日本事情教育に関する研究および異文化間交流に関する研究を促進するため「龍谷大学グローバル教育推進センター研究年報」を編集発行する。

(編集委員会構成)

3. グローバル教育推進センター会議から2名、留学生別科運営委員会から2名とする。
 - (1) 委員会に編集委員長を置く。
 - (2) 委員の任期は一年とする。

(事務局)

4. 委員会の事務はグローバル教育推進センター事務部がおこなう。

編集後記

『龍谷大学グローバル教育推進センター研究年報』第29号をお届け致します。本年報は「外国語を母語とする学習者を対象とした日本語・日本事情教育に関する研究および異文化交流に関する研究を促進するため」の刊行物と位置づけられています。本号でもこの趣旨に沿って、多彩な論点からなる二本の論考が掲載されています。ご執筆頂いた先生方に深く感謝申し上げます。

まず角岡先生は、「信仰と芸能という側面から見た説教」を取り纏められ、列島祝祭論、日本的靈性、妙好人、物真似の視点を総合して日本仏教における信仰と芸能の接点について論じられています。

次に手塚先生は、日本語文法科目の反転授業においてグループワークを取り入れた際、課題となる点をこれまでの実践と先行研究を通して考察され、効果的なグループワークの可能性を探り、提案されています。

どちらも専門性豊かで示唆に富む内容であり、執筆者の皆様には、改めて御礼申し上げます。なお、後半の「グローバル教育推進センター活動記録・データ集」には、今年度の本学グローバル教育推進事業の成果を記載しています。合わせてご一読いただければ幸いです。

(第29回編集委員長 畑 信吾)

龍谷大学グローバル教育推進センター研究年報 第29号

2020年3月発行

編集 龍谷大学グローバル教育推進センター研究年報編集委員会

発行 龍谷大学グローバル教育推進センター

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

電話 075-645-7898

印刷 株式会社 田中プリント

ISSN 2424-1067